

# 講師リスト

The List of Lecturers

2015, 09

株式会社農林中金アカデミー



**青山 浩子**  
あおやま ひろこ  
農業ジャーナリスト

### 「強い農業をつくる！」

D

1963年愛知県生まれ。1986年京都外国語大学卒業。JTB勤務を経て、1990年から1年間、韓国延世大学に留学。帰国後、ハンファジャパン、船井総合研究所に勤務。1999年より農業関係のジャーナリストとして活動中。1年の半分を農村での取材にあて、奮闘する農家の姿を紹介している。農業関連の月刊誌、新聞などに連載。著書に「強い農業をつくる」「農産物のダイレクト販売」などがある。講演では、農業が抱える問題点、先進農家の事例紹介、先進農家に共通してみられる成功ポイント等を紹介します。



**赤荻 聡**  
あかおぎ さとし  
フランクリン・コヴィー・ジャパン(株)  
デベロップメントチーム マネージャー

### 「『7つの習慣』に学ぶタイムマネジメント」

E

外資系パソコンメーカー営業、教育部門スーパーバイザー経験後、フランクリン・コヴィー・ジャパン(株)に入社。研修事業の営業、フランクリン手帳の企画、販売に携わり2010年より現職。『7つの習慣』でも有名なフランクリン・コヴィーではマネジメント層向けの研修を行っており、特に「タイム・マネジメント研修」は、24時間の中でどれだけ能率・効率よく行うかという時間管理の事ではなく、より大きな効果が継続して発揮できるタイム・マネジメントの考え方とその方法であり、ビジネスのみならずプライベートでも活用できる手段である。



**飯野 謙次**  
いいの けんじ  
NPO法人失敗学会  
副会長

### 「農業経営に活かす“失敗学”」

E

1959年大阪生まれ。1982年東京大学工学部卒業。1984年同大学大学院工学系研究科修士課程修了。1992年スタンフォード大学機械学・情報工学博士号取得。2000年SYDROSE LP設立、ゼネラルパートナー就任。2002年NPO失敗学会副会長就任。2009年事務局長兼務。「周知徹底」「教育訓練」「管理強化」はミスを防ぐ対策としての響きは良いが、人の注意力を高めるだけで、実効性は薄い。講演ではどうすれば失敗を減らせるかについて分かりやすく解説し、精神論ではない同じ失敗を繰り返さないための仕組みづくりを提言する。



**石割 照久**  
いしわり てるひさ  
(株)嶋石 代表取締役社長

### 「新しい農業スタイルの創造」

E

1957年京都市生まれ。家業の農家の10代目。多種多様な京野菜を育てる他、料理人の要望に応えた「オーダーメイドの野菜」を手掛ける。「京都伝統野菜研究会」「新京野菜の会」会長を務め、講演や農業指導も行っている。農林水産省提唱の「農村漁村の6次産業化」＝「地域資源と産業を結びつけ雇用確保と所得向上を目指す」に呼応し、企業、農家、学生を繋ぐ新たな農業スタイルに取り組んでいる。講演では「京野菜」を全国ブランドに仕掛けた石割氏のマーケティング戦略・ブランド戦略を語る。



**伊藤 聡子**  
いとう さとこ  
フリーキャスター

### 「地域経済の活性化が、日本の元気を取り戻す鍵」

D

1967年新潟県生まれ。東京女子大学文理学部卒業。在学中にTBS系「関口宏のサンデーモーニング」でデビュー。TBS系「ベストタイム」、TV朝日系「スーパーモーニング」のキャスターとして活躍。2002年NYフォーダム大学にてアメリカ社会学を学ぶ。「日本の元気を取り戻す鍵は、地域経済の活性化」を持論とし、地域に根差した独自の取り組みで活躍する人々や、ビジネス事例、地域をイキイキと輝かせるヒントを数多く取材し、メディアや講演活動で発信している。また原子力・エネルギー問題にも関心が高く、国内外の原子力施設の取材も行っている。



**岩田 松雄**  
いわた まつお  
(株)リーダーシップコンサルティング  
代表取締役社長

### 「ミッション経営—企業の原点に戻る」

C

1982年日産自動車入社。その後、外資系コンサルティング会社、日本コカ・コーラビバレッジサービス常務執行役員を経て、2000年アトラス代表取締役就任。3期連続赤字企業を見事再生。2005年「THE BODY SHOP」を運営するイオンフォレスト代表取締役社長就任。店舗数を拡大しながら売上を約2倍に。2009年スターバックスコーヒージャパン(株)CEO就任。次々に改革を実行し業績を向上。日本に数少ない“専門経営者”として確固たる実績を上げてきた。2013年リーダーシップコンサルティング設立。講演では「ミッション経営」「企業の存在意義」「真のリーダーとは」についてお話しします。



**岩原 端美**  
いわはら やすみ  
フリー・キャスター

## 「伝える力」

E

富山テレビアナウンス部、ラジオ福島アナウンス部を経て、NHK総合「おはよう日本」にて、シティ情報局、会社探検、街かど食情報のコーナーキャスターを務める。TBSラジオ「ラジオショッピング」、文化放送「ラジオショッピング」等でもキャスターを務め、ラジオショッピング売上NO. 1を誇る。最近では、ジャパネットたかたのテレビMCを2年務める。現在、企業研修、講演活動と幅広く活躍中。これまでのフリーアナウンサーや、ショッピングキャスターの経験を元に“いかにして声を使って、利益を生み出すのか？”その極意、考え方をお伝えします。



**江口 泰広**  
えぐち やすひろ  
学習院女子大学名誉教授

## 「企業のブランド戦略」

D

1968年学習院大学経済学部卒業。(財)流通経済研究所、日本総合研究所主任研究員を経て、1998年学習院女子大学創設と共に国際文化交流学部教授。2015年名誉教授就任。流通論とマーケティング論を原点に、多数の企業の顧問として経営戦略の策定や実務活動に携わる。またNHKやテレビ東京等の経済・経営番組にも出演。「ブランディング」「10大戦略の視点」について歯に衣着せぬ核心をついた問題指摘と提言には定評がある。主な著書「マーケティングのことが面白いほどわかる本」



**大久保 寛司**  
おおくぼ かんじ  
人と経営研究所所長

## 「自分が変われば組織も変わる」

D

1949年生まれ。横浜市立大学商学部卒業。73年日本アイ・ビー・エム入社。中部支社を中心に営業現場にて活躍。92年本社業務改革推進本部MDQ(マーケット・ドリブン・クオリティ)推進担当。98年CS部長に就任。2000年同社を退社し、人と経営研究所を設立、所長に就任。顧客重視の経営革新、組織の体質改善と仕組みづくりに奔走し、“人と経営のあるべき姿”を探求している。全国から指導・講演依頼が殺到している。著書「月曜の朝からやる気になる働き方」「自分が変われば組織も変わる コミュニケーション上手になる」「二十一世紀 残る経営、消える経営」「仕事の壁を破るヒ



**合瀬 宏毅**  
あおせ ひろき  
NHK解説主幹

## 「食を巡る状況と日本の農業力」

E

1959年佐賀県生まれ。山口大学経済学部卒業。NHK入局後、鹿児島放送局、名古屋放送局などで勤務。「NHKスペシャル」「モーニングワイド」等の製作を担当し、経済番組のプロデューサーを経て、2009年より解説主幹。「食料・第一産業」を中心とする経済問題担当。農政ジャーナリストの会会長、食料・農業・農村政策審議会委員。



**太田 肇**  
おおた はじめ  
同志社大学政策学部教授

## 「“個力”を活かせる組織づくりと人材育成」

E

1954年兵庫県生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修了。経済学博士。滋賀大学経済学部教授等を経て、2004年から同志社大学政策学部教授(同大学院総合政策科学研究科教授を兼務)。専門は組織論、モチベーション論。とりわけ「個人を重視した仕事・組織・社会」について幅広い研究に取り組み、新たな組織モデルとなる企業への直接取材なども積極的に行っている。主な著書「がんばると迷惑な人」「公務員革命」「組織を強くする人材活用戦略」「日本人ビジネスマン『見せかけの勤勉』の正体」他多数。



**大谷 由里子**  
おおたに ゆりこ  
人材活性プロデューサー

## 「大谷流『ココロの元気』の作り方」

C

京都ノートルダム女子大学を卒業後、吉本興業(株)入社。故・横山やすしのマネージャーを務め、宮川大助・花子、若井こずえ・みどりなどを売り出し注目を集める。2003年研修会社の志緑塾(しえんじゅく)を設立、代表取締役就任。現在、人材活性化プロデューサーとして年間300を超える講演・研修をプロデュースする傍ら、自らもプレゼンターとして全国での講演・研修を精力的に行っている。「笑い」を用いたユニークな「人材育成法」は、NHKスペシャルなどメディアで取り上げられ話題となっている。主な著書「『出会い力』の磨き方」「仕事で大事なルールは吉本興業で学んだ」



**金原 光広**  
かねはら みつひろ  
経営コンサルタント

### 「農業における後継者育成および事業承継」

E

早稲田大学卒業後、中国貿易専門商社を経て、(財)日本生産性本部入職。1995年住宅用構造材の製材メーカーである井原産業(株)に女婿後継者として入社。1997年代表取締役就任。2002年同事業から不動産・金融資産管理・投資業に業態転換。同時に経営コンサルティング、人材育成支援事業を開始。2005年(有)グレフコンサル設立、代表取締役就任、現在に至る。若手経営者や第二創業を目指す経営者に向けて指導を行う経営コンサルタント。閉塞感が漂う経営を打破し飛躍させるべく自身の経営経験を活かしたトータルな視点で、経営革新への突破口を提示する。



**木越 和夫**  
きごし かずお  
(有)商売繁盛応援団 団長  
(有)せいわ書店 顧問

### 「向かい風、うしろを向けば追い風に」

E

1945年福井県小浜市の塗箸製造業の長男として生まれる。27歳で家業を継ぎ社長となる。当時のオイルショック、不況、共同経営の失敗等の経営危機を乗り越え、35歳の時に畳一畳の小売店を開店。一人一膳あればよい「お箸」を観光客相手の店一店舗と、幼児向け「六角知能箸」の通販だけで年商数億円を売り上げるカリスマ商売人。ユニークな発想と独自の社員教育・販売接客、徹底した“お客様優先主義”で、変えようのない「箸」を変え、新市場を開拓。主な著書「小さな会社 商売繁盛の特効薬」「臆病者の経営学」



**小島 貴子**  
こじま たかこ  
東洋大学理工学部生体医  
工学科  
准教授  
キャリアカウンセラー

### 「人材育成が出来る人と出来ない人」

E

1958年福岡市生まれ。三菱銀行(現・三菱東京UFJ銀行)入行。1991年埼玉県庁に職業訓練指導員として入庁。職業訓練生の就職支援を行い、7年連続で就職率100%を達成させる。2003年「日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー、キャリアクリエイト部門賞」を受賞。2005年県庁を退職。同年、立教大学で、社会と大学を結びつける「コオプ・コーディネーター」就任。2010年埼玉県雇用人材育成統括参与就任(～2013)。現在は東洋大学理工学部生体医工学科准教授、東洋大学グローバルキャリア教育センター副センター長。多数の企業で採用・人材育成コンサルタント及びプログラム作成と講師を務める。



**五島 宏明**  
ごしま ひろあき  
ヒロパートナーズオフィ  
ス代表

### 「勝ち残るために、今何をすべきか」

E

1962年岐阜市生まれ。青山学院大学経営学部卒業。30歳で祖父が創業した小売業の社長(三代目)となり、店頭公開を目標に製造小売業(SPA)へ業態転換し、プライベートブランドを立ち上げ、24店舗、年商11億円、経常利益5千万円まで成長させたが、5年で全店舗が赤字となり、2007年45歳で会社を倒産させ自己破産。その後、コンサルタントへの道を決断し、昼は勉強、夜は数多くのアルバイトをし倒産してから丸三年の2010年ヒロパートナーズオフィスを立ち上げる。現在「頑張る社長の応援団長」として企業の継続・発展のための活動を展開している。



**佐々木 常夫**  
ささき つねお  
(株)佐々木常夫マネジ  
メント・リサーチ代表

### 「リーダーのタイムマネジメント」

C

1944年秋田県生まれ。1969年東京大学経済学部卒業後、東レ入社。家庭では自閉症の長男と肝臓病とうつ病を患う妻を抱えながら、仕事でも大きな成果を出し、2001年東レの取締役、2003年に東レ経営研究所社長就任。2010年(株)特別顧問。2013年より佐々木常夫マネジメント・リサーチ代表。「ワークライフバランス」のシンボリック的存在である。講演では東レで数々の事業改革に取り組み、また障害を持つ息子と妻を抱えながら仕事と家族の両立をしてきた体験を通じて、これからの時代の経営やリーダーの在り方を説く。



**佐藤 満**  
さとう みつる  
元・日本ゼネラルモ  
ーターズ(株)代表取締役社長

### 「逆境を切り拓く経営 ～壁を破る発想法～」

D

京都・平安神宮の神官の家に生まれる。立命館大学卒業後、商社勤務を経て、31才で本田技研工業(株)入社。42才でホンダカーズタイランド社長に就任。ホンダの乗用車シェアを5年で2.5%から22%にアップさせた。帰国後、ジープチェロキーを2年で13,000台に、日本シェアを25.5%から34%に躍進させる。1998年日本ゼネラルモーターズ社長就任。2002年社長退任後、(株)佐藤満国際経営・農業研究所を設立。実践から得た経営論で累計1500回を超える講演・企業診断をこなす。会社を黒字にできなければ、原因はすべて自分の器のなさにある“原因自分論”が佐藤氏の持論。



## 上甲 晃

じょうこう あきら  
志ネットワーク代表

### 「凡時徹底！～松下幸之助の人づくり～」

D

1941年大阪生まれ。1965年京都大学卒業後、松下電器産業入社、広報、販売を担当。1981年財団法人松下政経塾に入職。長年にわたり人材育成に携わる。教育部長、塾頭、副塾長、常務理事を経て、1995年退職。これまで培った経験を生かして「志ネットワーク」を設立し、次代を担う青年の人間教育の場として、翌年「青年塾」を創設。「思いは天下に、実践は足元から」をモットーに、21世紀を担う若い人材を育てることに尽力し、多くの人材を輩出してきた上甲氏ならではの人間教育についての講演は圧倒的な説得力を持つ。



## 白石 真澄

しらいし ますみ  
関西大学政策創造学部教授

### 「日本経済を元気にする処方箋」

D

1987年関西大学大学院修士課程修了、(株)西武百貨店を経て、1990年(株)ニッセイ基礎研究所、都市開発部や社会研究部門にて調査・研究に従事。2002年東洋大学助教授、教授を経て、2007年より現職。専門テーマは、「バリアフリー」、「少子・高齢化と地域システム」。産業構造審議会委員（経済産業省）、ロボット革命実現会議（内閣府）構成員も務める。講演では、少子高齢化、グローバル化、地域活力の低下や過疎化など環境が激変する現在の日本社会において、自治体、企業、個人が新しい価値や仕組みを作るための方策を提言する。



## 杉山 経昌

すぎやま つねまさ  
葡萄園スギヤマ代表

### 「楽しい農業、楽しい経営、楽しい人生」

E

1938年東京生まれ。千葉大学文理学部化学科卒業後、通信機器メーカーと半導体メーカーを経験した後、28年のサラリーマン生活と決別し、宮崎県綾町で農業を始める。農業で「豊かな生活モデル」の実現を目指し、ローリスク・ハイリターンの小さくても強い農業を作り出す「低コストビジネスモデル」の構築にチャレンジ。国際ビジネスで鍛え上げた理論とマーケティング感覚・情報機器を駆使し経営戦略を練り、シミュレーションを重ね”安定的かつ最適”の経営を実現し、現在、年間平均週休4日相当以下の労働時間で楽しい農業を実践している。



## 辻野 晃一郎

つじの こういちろう  
アレックス株式会社 代表  
取締役社長兼CEO

### 「成功体験はいらない」

D

1957年福岡県生まれ。1984年慶応義塾大学大学院工学研究科を修了し、ソニー入社。VAIO、スゴ録、コクーンなど、ソニーの主力商品を次々と生み出す。1988年カリフォルニア工科大学大学院電気工学科を修了。2006年ソニー退社後、翌年、グーグルに入社。2009年グーグル日本法人代表取締役社長に就任し、グーグルの日本市場における成長に寄与した。2010年グーグルを退社し、アレックス(株)を創業。現在、同社代表取締役社長兼CEOを務める。2012年より早稲田大学商学大学院客員教授。主な著書「グーグルで必要なことは、みんなソニーが教えてくれた」



## 都築 富士男

つづき ふじお  
経営コンサルタント  
(株)都築経営研究所代表

### 「経営課題の明確化と課題解決の仕組みづくり」

E

大学卒業後、スーパーマーケット・ダイエー入社。米国勤務を経て、ローソン再建のために帰国。当時80店舗しかなかった店舗数を、在籍中3000店舗にまで拡大。全国展開の日本を代表するコンビニエンス・チェーンに急成長させた。その後、上場会社社長を経て独立。「都築経営研究所」代表取締役として、コンサルティング、企業顧問、講演などを中心に活動中。また内閣官房「地域活性化伝道師」「6次産業化プランナー」、2008年「全日本農・商・工連携推進協議会」の会長として淘汰されつつある中小企業と崩壊の危機にある農業・農村の活性化の支援を行っている。



## 都築 幹彦

つづき みきひこ  
ヤマト運輸(株) 元・取締役  
社長

### 「どん底から生まれた宅急便」

D

1929年東京都生まれ。慶應大学卒業後、ヤマト運輸入社。1976年2代目・小倉昌男社長の右腕として当時の業界常識を破り、小荷物を運ぶ「クロネコヤマトの宅急便」を開発。社内の反対や、関係省庁の規制の壁を越え、全国翌日発送を実現させ、ヤマト運輸を日本を代表するサービス会社に成長させた。1987年代表取締役社長（3代目）就任。常にお客様の立場に立ったサービスを考え、時代のニーズに合った企画を次々と開発し続けた。1991年会長就任。その後、相談役を経て、1995年退任。宅急便誕生の舞台秘話を失敗談を含めながら、ユーモア溢れる講演は定評を得ている。



### 徳 源秀

とく げんしゅう  
オフィス リコグニッ  
ション代表

## 「ディズニー流マネジメントの秘訣」

E

1955年東京生まれ。1982年(株)オリエンタルランド入社。1983年の東京ディズニーランドのグランドオープンから24年にわたり人材育成・人材教育を中心に従事する。教育マネージャー時代には、ディズニーフィロソフィー浸透のためリーダーシップ、コミュニケーション領域のプログラム開発、従業員向けコミュニケーションツールの企画・開発を手掛け、CS（顧客満足）、ES（従業員満足）の向上に努める。2006年退社。コンサルティング会社を経て、2013年「オフィス リコグニッション」を設立、代表就任。



### 鳥塚 亮

とりづか あきら  
いすみ鉄道(株)  
代表取締役社長

## 「危機を乗り越える夢と戦略」

E

1960年東京生まれ。1984年明治大学商学部卒業。ブリティッシュエアウェイズ旅客運航部長を経て、2009年公募にて、いすみ鉄道社長となる。子供の頃から大の鉄道マニアだった鳥塚氏は、万年赤字経営だった、いすみ鉄道を、ムーミン列車の運行、物販拡充、「700万円訓練費用自己負担運転士」の募集、「キハ52型ディーゼルカー」導入など、斬新なアイデアを展開し、収支を改善し黒字経営に転換。また地元商店会を中心に「ムーミン列車応援団」を結成し、列車内でのコンサート開催等、地域と連携した「まちおこし」の一翼を担っている。



### 中川 政雄

なかがわ まさお  
㈱オフィス・なかがわ  
代表

## 「笑いとユーモアで業績アップ」

E

1942年大阪生まれ。地元の信用金庫に入庫し営業畑を歩く。28歳で全国最年少支店長に抜擢。その後、7ヶ店の支店長を歴任し、不振店を優秀店に仕上げる。1995年常務理事就任。2002年信用金庫を退任し、オフィスなかがわ設立。信用金庫時代、様々な組織改革、人材活性化策を導入し業績不振店を優秀店へと変えていった伝説の信金マン。現在は、「苦難の時こそ、笑おう」をモットーに講演、執筆と幅広く活躍中。実体験をもとに現場で培った人材活用や業績アップのコツをユーモアたっぷりに語る。



### 平田 進也

ひらた しんや  
㈱日本旅行 西日本営業本  
部営業推進事業部担当部  
長

## 「“ナニワのカリスマ添乗員”が実践する顧客倍増法」

D

1957年奈良県生まれ。1980年京都外国語大学卒業後、日本旅行入社。大学在学時からテレビ番組「ラブアタック！」の名物みじめアタッカーとして活躍。日本旅行入社後も、「おはよう朝日です」「探偵！ナイトスクープ」などテレビ出演は600回を超える。添乗員として豊富な経験と巧みな話術、変身芸を生かし、「平田進也と行くツアー」には申し込みが殺到するほどの幅広いファン層を持つ。平田進也旅行クラブ「進子ちゃんクラブ」は22,000名を超える会員数。年間8億円を突破する売り上げを稼ぐ「なにわのカリスマ添乗員」が、おもてなしの真髄を語る。



### 福島 敦子

ふくしま あつこ  
ジャーナリスト

## 「未来を切り拓く経営者たち」

C

津田塾大学学芸学部卒。中部日本放送を経て、1988年独立。NHK、TBSなどで報道番組のキャスターを担当。テレビ東京の経済番組のキャスターや、週刊誌「サンデー毎日」での5年間に及ぶ企業トップ対談をはじめ、日経新聞、経済誌などこれまでに700人を超える企業経営者への取材を行っている。経済・経営をはじめ、環境、コミュニケーション、農業・食などをテーマとした講演やフォーラムでも幅広く活躍。また上場企業の社外取締役や経営アドバイザーも務める。主な著書「愛が企業を繁栄させる～ビジョナリーな経営者の共通原理～」



### 佛田 利弘

ぶった としひろ  
(株)ぶった農産  
代表取締役社長

## 「日本初農業株式会社を目指すもの」

E

1960年石川県石川郡野々市町生まれ。農林水産省農業者大学校入学後、デンマークでのホームステイ、新潟での長期農業実習を体験。83年農林水産省農業者大学校卒業、家業の農業に従事。88年に法人化し、2001年より(株)ぶった農産代表取締役社長就任。94年農水省農政審議会専門委員をはじめ、2001年農水省独立行政法人評価委員会農業分科会専門委員などを務め、現在、農水省政策評価委員会経営局部会専門委員、石川県稲作経営者会議会長、石川県農業法人協会副会長理事等の公職を多数務める。



### 三浦 由紀江

みうら ゆきえ

日本レストランエンタプライズ  
駅弁マイスター

## 「売上不振を打破する！ 究極の接客・販売術」

E

1953年埼玉県生まれ。23年間の専業主婦生活を経て、1997年44歳の時にJR上野駅の駅弁販売でパートデビュー。駅弁販売員として実績を上げ、パート社員ながら初めて上野駅8店舗を束ねる総括店長となり、契約社員を経て、2006年52歳で正社員となり、53歳時に異例の抜擢で大宮営業所長となる。就任1年目で売上5,000万円アップさせ、年商10億円を達成。9人の社員と110人のパート・アルバイトを束ね、大宮駅6店舗を切り盛りするカリスマ営業所長として活躍し、メディアにも多数取り上げられる。2013年定年退職に伴い、㈱日本レストランエンタプライズの「駅弁マイスター」として指導役となる。



### 宮治 勇輔

みやじ ゆうすけ

㈱みやじ豚  
代表取締役社長

## 「湘南の風に吹かれて豚を売る」

E

1978年湘南地域の小さな養豚農家の長男として生まれる。2001年慶應大学卒業後、大手人材派遣会社勤務を経て、2006年実家の養豚業を継ぎ、㈱みやじ豚を設立し、2年で神奈川県トップブランドに押し上げる。2008年『みやじ豚』農林水産大臣賞受賞。2009年「NPO法人農業のこせがれネットワーク」設立。一次産業を“かっこよくて・感動があって・稼げる”3K産業にするため新しい農業標準作りに挑戦する。農家の後継ぎ、若手経営者のためのプラットフォームづくりに取り組む他、農業に力を入れる地方自治体のPR活動の支援、若手農業者向けの研修等を行っている。



### 宮端 清次

みやばた きよつぐ

株式会社はとバス 元社長

## 「情熱と行動力を高めるための”意識改革”」

E

1935年大阪市生まれ。1957年中央大学法学部卒業。1959年同大学院法学研究科修了後、東京都庁入庁。1994年退職後、東京都地下鉄建設㈱代表取締役専務就任。1998年㈱はとバス代表取締役社長就任。2002年退任後、同社特別顧問を歴任し、2007年東京都交通局経営アドバイザー委員を歴任。東京都庁の役人から倒産寸前のはとバス社長に就任。徹底した顧客サービスと社長以下全員の賃金カットを断行。役人らしからぬ攻めのコスト改革と全社員が危機感と使命感を共有する意識改革を行い、わずか4年で累積赤字を一掃し同社を再建する。



### 宗次 徳二

むねつぐ とくじ

㈱杏番屋 創業者  
特別顧問

## 「宗次流 独断と偏見の経営哲学」

D

1948年生まれ。生後まもなく兵庫県孤児院へ預けられた後、宗次家へ養子へ。高校卒業後、大和ハウスに就職。不動産仲介業を開業した後、1974年に名古屋市に喫茶店「バックス」を開店し、接客重視の経営が奏功する。メニューの中でカレーライスの人気が爆発し、1978年「COCO杏番屋」1号店をオープン。フランチャイズシステムを確立させ、現在は国内外の店舗で1350店を超える。2005年に東証一部上場。2002年会長職を退き、現在は起業家支援や文化奨励を活動とするNPO法人「イエローエンジェル」を設立し、文化施設の設立や慈善活動に取り組む。



### 茂木 久美子

もき くみこ

元・山形新幹線「つばさ」  
カリスマ車内販売員

## 「仕事を楽しむ！」

E

1980年山形県天童市生まれ。山形城北高校卒業、JR東日本の車内販売会社日本レストランエンタプライズ(NRE)山形支店1期生として入社。山形新幹線『つばさ』車内販売員となる。2005年東京一山形の一往復半で53万円という驚異的な売上を記録。※一人平均売上は一往復で7~8万円。2006年史上最年少でチーフインストラクターに就任し、1,300名の社員の指導にあたる。2012年引退。現在、講演・セミナーを中心に活動を積極的に行っている。主な著書「雑談接客で売上5倍！」



### 吉川 隆久

よしかわ たかひさ

変革クリエイター

## 「変革の時代のリーダーはどうあるべきか」

E

1948年奈良県生まれ。1971年神戸商科大学管理学科卒業後、大和銀行(現りそな銀行)入行。支店勤務を経て、本部にてベンチャービジネス・異業種交流の事務局を長期にわたり担当。2004年独立して、講演会講師として全国展開にて活動。激変する時代の中で「変えたい」というニーズを最重要課題とし、企業改革・自己改革などの具体的問題に取り組む。吉川氏の研修や講演は、常に聴講者の立場を重視した分かりやすい指導ぶりや評価が高い。風貌からは予想できない迫力と情熱にあふれる指導は聴く人の心に火をつける。



**逢坂 ユリ**

あいさか ゆり  
作家/資産運用コンサルタント

**「世界の動向からよむ日本の経済と金融の行方」**

D

ニューヨーク大学卒業。モルガン・スタンレー・アセット・マネジメントで資金運用・トレーディング部門に所属後、ゴールドマン・サックス証券で金融法人向け外国為替カスタマー・ディーラー及び債権セールスを経験。ドイツ証券では、事業法人営業部に所属し、資金調達から運用まで幅広い業務に携わる。2005年資産運用コンサルタントとして独立。2007年よりTV・ラジオの経済・金融専門チャンネルでレギュラーコメンテーターとして出演。2011年～2013年迄、TBS系TV「みのもんたの朝ズバッ！」出演。



**伊藤 元重**

いとう もとしげ  
東京大学大学院  
経済学研究科教授

**「グローバル化経済に立ち向かうために」**

B

1951年静岡県生まれ。1974年東京大学経済学部経済学科卒業。ロチェスター大学Ph. D. 専門は国際経済学。1982年東京大学経済学部助教授、1993年教授を経て1996年より現職。小渕内閣「経済戦略会議」森内閣「IT戦略会議」で委員を務める。いわゆる「アームチェア・エコノミスト」ではなく、ビジネスの現場を歩き、生きた経済を論理的視点を踏まえて鋭く解き明かす、いわば「ウォーキング・エコノミスト」として知られる。テレビ東京系「ワールドビジネス・サテライト」コメンテーター等、メディアでも活躍中。



**内田 裕子**

うちだ ゆうこ  
経済ジャーナリスト  
ハーベイロード・ジャパン  
副代表

**「取材現場から見える“日本経済”」**

D

大学卒業後、大和証券に入社。トレーダーを経験後、同社の社内TV放送「大和サテライト」のキャスターに抜擢され、マーケット情報番組や経営者・アナリストとの対談番組へ多く出演。2000年財部誠一事務所へ移籍。経済ジャーナリストとしての活動を始める。製造現場の取材、経営者へのインタビューを得意とする。テレビ朝日系「サンデープロジェクト」の経済特集チームで取材活動をした後、BS日テレ「財部ビジネス研究所」では7年半にわたり取材レポーターとして出演。現在、日本国内だけでなく新興国など海外取材も多く、常に現場へ赴き最新情報を伝えている。



**柯 隆**

か りゅう  
㈱富士通総研  
経済研究所 主席研究員

**「迷走する中国経済の行方」**

E

中国・南京市生まれ。1992年愛知大学法経学部卒業、1994年名古屋大学大学院経済学研究科修士課程修了。同年長銀総合研究所入所。1998年より富士通総研経済研究所へ移籍。2006年より主席研究員、現在に至る。情報とデータに基づいた徹底した分析で中国の未来を予想し、警鐘を鳴らす新進気鋭の中国人エコノミスト。講演では、足元の中国経済と今後の展望を概観し、チャイナリスクを整理する。中国には2万五千社の日系企業が進出しており、景気減速に差し掛かる中で、日本企業の対中投資戦略の在り方について提言。独自の情報分析で、中国と日本に対する率直な提言には定評がある。



**門倉 貴史**

かどくら たかし  
BRICS 経済研究所  
代表

**「必ず誰かに話したくなる経済学」**

D

1971年神奈川県生まれ。1995年慶應大学経済学部卒業後、銀行系シンクタンク入社。1999年日本経済研究センター出向、2000年シンガポールの東南アジア研究所出向。2002年から2005年まで生保系シンクタンク経済調査部主任エコノミストを経て、現在はBRICS 経済研究所代表。現在は同研究所の活動と併せて、フジテレビ「ホンマでっか!?TV」、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」など各種メディアにも出演中。専門は日米経済・アジア経済・BRICS 経済・地下経済と多岐にわたり、いまマスコミが注目する気鋭の若手経済評論家として活躍中。



**金子 勝**

かねこ まさる  
慶應義塾大学経済学部  
教授

**「日本経済の明日を読む」**

D

1952年生まれ。1975年東京大学経済学部卒業。1980年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得修了。東京大学社会科学研究所助手、茨城大学人文学部専任講師、法政大学経済部助教授、同大学教授を経て、2000年慶應義塾大学経済学部教授、現在に至る。制度経済学、財政学、地方財政論を専門とする経済学者。TBS「サンデーモーニング」テレビ朝日「朝まで生テレビ！」等、メディア出演や、新聞記事・雑誌への執筆も行っている。講演では世界経済の動向、日本の政治の現状をベースに企業経営の今後のあり方を鋭く読み解く。





**齋藤 精一郎**

さいとう せいいちろう  
社会経済学者・エコノミスト

**「これからの世界経済・アジア経済・日本経済」**

D

1963年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。その後、立教大学社会学部教授を経て、2005年～2010年まで千葉商科大学大学院教授。2009年よりN T Tデータ経営研究所所長。2015年退任。現在、千葉商科大学名誉教授、社会経済学者、エコノミストとして、社会経済学、金融論、経済政策論を中心に幅広い評論活動を行う。また、テレビ、マスコミなどでもコメンテーターとして幅広く活躍中。実務経験を生かした的確な金融論には定評があり、ユーモアを織り交ぜながら経済を読むコツ、日本経済の行方を語る。

主な著書「デフレ突破」「『10年不況』脱却のシナリオ」他多数。



**島田 晴雄**

しまだ はるお  
千葉商科大学学長

**「日本経済再生の要件」**

C

1943年東京生まれ。慶應義塾大学大学院修了後、米国ウィスコンシン大学で博士号取得。慶應義塾大学経済学部教授、東京大学客員教授、富士通総研理事長を経て、2007年より慶應義塾大学名誉教授、及び、千葉商科大学学長。

小泉政権下では内閣府特命顧問として政策支援に携わり、政府税制調査会委員や対日投資会議専門部会部会長など歴任し、政府の政策形成にも深くかかわってきた。国内外に幅広い人脈とネットワークを持ち、学術研究の傍ら様々な分野でも活発な言論活動を行い、バランスのとれた見識と率直な発言を展開している。



**須田 慎一郎**

すだ しんいちろう  
経済ジャーナリスト

**「取材現場から見た政治経済の裏側」**

D

1961年東京生まれ。日本大学経済学部卒業。経済誌の記者を経て、フリージャーナリストに。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動を続ける傍ら、テレビ朝日「ワイドスクランブル」「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」、テレビ大阪「たかじんNOMANEE」などテレビ、ラジオの報道番組で活躍中。

政界・官界・財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

主な著書「アベノミクスが激論で解けた!」「サルに負けない投資戦略」



**高成田 亨**

たかなりた とおる  
仙台大学 体育学部 現代武道学科 教授  
元朝日新聞社石巻支局長

**「変わる日本経済と暮らし」**

E

1948年岡山市生まれ。71年東京大学経済学部卒業後、朝日新聞社入社。山形、静岡支局を経て経済部記者を務める。アメリカ総局長（ワシントン）、経済部次長、論説委員などを経験。96年テレビ朝日「ニュースステーション」のキャスターを兼務。98年アメリカ総局長（ワシントン）。帰国後、論説委員に戻り米州や国際経済を担当。定年を機にシニア記者として08年～11年石巻支局長を務める。現在、仙台大学教授。東日本大震災復興構想会議の委員も務める。

主な著書「こちら石巻さかな記者奮闘記」「怒りの苦さまた青さ」



**宅森 昭吉**

たくもり あきよし  
三井住友アセットマネジメント  
理事・チーフエコノミスト

**「身近なデータで読み解く経済・金融動向」**

E

1957年東京生まれ。1980年慶應義塾大学経済学部卒業後、三井銀行（現・三井住友銀行）入行。調査部、市場営業部などを経て、1994年さくら証券チーフエコノミスト。2012年より三井住友アセットマネジメント理事・チーフエコノミスト就任、現在に至る。

長年にわたりマーケットで経済・金融予測を行う。マクロ経済指標のほか、多くの国民が関心を持つスポーツ結果やヒット曲・ドラマなどの身近なデータを補助信号として活用し、景気の変化をいち早く読み取ることで定評がある。

主な著書「ジंकスで読む日本経済」「日本経済『悲観神話』はもういない」



**永濱 利廣**

ながはま としひろ  
第一生命経済研究所 経  
済調査部  
主席エコノミスト

**「どうなる？今後の日本経済」**

E

1995年早稲田大学理工学部卒。2005年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了。同年、第一生命保険入社。1998年日本経済研究センター出向。2000年第一生命経済研究所経済調査部副主任研究員。2004年同主任エコノミストを経て、2008年より現職。経済財政諮問会議政策コメンテーター、総務省消費統計研究会委員、景気循環学会理事兼事務局長、国際公認投資アナリスト、日本証券アナリスト協会検定会員を兼任。経済統計・マクロ経済の実証分析を専門とし、内外経済の長期予測を行っている。主な著書「男性不況『男の職場』崩壊が日本を変える」



**真壁 昭夫**

まかべ あきお  
信州大学経済学部教授  
経済学者

**「この不透明な世界経済をどう読むべきか」**

D

1953年神奈川県生まれ。1976年一橋大学商学部卒業、第一勧業銀行（現みずほ銀行）入行。メリルリンチNY本社へ出向、運用畑を歩みディーラーとしても活躍。みずほ総合研究所を経て、2005年より信州大学経済学部教授。日経CNBCのレギュラーコメンテーターを務め、テレビ朝日「報道ステーション」「報道2001」等にも出演。この不透明な世界経済をどう読むべきか、また政局で揺れる日本経済の見通しは？相互に関連しあう事象を分かり易く説く。  
主な著書「日の丸家電の命運」「日本がギリシャになる日」「行動経済学入門」



**三神 万里子**

みかみ まりこ  
ジャーナリスト

**「農工商連携が新たなビジネスの未来を拓く」**

D

慶応義塾大学環境情報学部卒。日本文藝家協会会員。大学卒業後よりジャーナリストとして独立開業。東京を拠点に、国内外で経済・産業・経営・政策分野を取材、執筆。社会システムの変化と対応策としての産業振興・新規モデルなど、産業分野を横断し発掘、取材。近年は海外と国内地域経済を同時に追い、NHK、民放にて経済番組のメインキャスター、解説等で活躍。また最近では、国内外の復興、産業・社会構造転換策分野、地域経済活性化策に従事し、講演、パネルディスカッション等、幅広く活躍中。



**水野 和夫**

みずの かずお  
日本大学 国際関係学部  
教授

**「グローバル化の本質と日本の課題」**

D

1953年愛知県生まれ。1980年早稲田大学大学院経済研究科修士課程修了。同年、八千代証券入社。1981年国際証券へ合併。2000年同社執行役員就任。2002年三菱証券へ合併。同年、理事チーフエコノミスト就任。2005年三菱UFJ証券チーフエコノミスト就任。2010年三菱UFJモルガン・スタンレー証券、参与チーフエコノミスト就任。同年、同社退社。内閣府大臣官房審議官、2011年内閣官房内閣審議官、2012年退官。2013年より日本大学国際関係学部教授。世界経済危機を最も早くから警告していた水野氏。講演ではグローバル化の本質を鋭利に分析し、文明論的視点から世界経済の大きな流れ・資本市場・金融政策など新たなシステムを提言する。



**三橋 貴明**

みつはし たかあき  
（株）経世論研究所所長

**「日本を救う経済政策と真の成長戦略」**

D

1969年熊本県生まれ。1994年東京都立大学（現：首都大学東京）経済学部卒業後、外資系IT企業、NEC、日本IBM等を経て、2008年三橋貴明事務所（現：経世論研究所）を設立。2007年インターネット上の公表データから韓国経済の実態を分析し、内容をまとめた著書「本当はヤバイ！韓国経済」がベストセラーとなる。現在、執筆、各種メディアへの出演及び、講演活動等、幅広く活躍中。  
講演では、現在の日本経済の実態とデフレ脱却の正しい政策、さらに将来の「生産性向上」の必要性と、そのために必要な「投資」等について具体的事例をもとに話します。



**森永 卓郎**

もりなが たくろう  
経済アナリスト  
獨協大学経済学部教授

**「生活を豊かにする経済学」**

C

1957年東京都生まれ。1980年東京大学経済学部卒業、日本専売公社、日本経済研究センター、経済企画庁総合計画局、三和総合研究所（現：UFJリサーチ&コンサルティング）主席研究委員等を経て、現在、経済アナリスト、獨協大学経済学部教授。専門は労働経済学と計量経済学。そのほかに、金融、恋愛、オタク系グッズなど、多くの分野で論評を展開している。難しい「経済」を斬る語り口は解りやすく、明快である。テレビ朝日「ニュースステーション」のレギュラーコメンテーターを務める。現在は読売テレビ「情報ライブミヤネ屋」TBSテレビ「がちりマンデー」などにレギュラー出演中。



**山口 義行**

やまぐち よしゆき  
立教大学経済学部教授

**「革新と創造で新時代を切り拓け」**

D

1951年名古屋市生まれ。立教大学大学院修了。1993年より同大学経済学部助教授、95年経済学科長等を経て、2001年より現職。NHK総合テレビ「クローズアップ現代」、「さきどり」、テレビ東京「ジパング」などでコメンテーターとしても活躍。また中小企業支援ネットワークである「スモールサン（中小企業サポートネットワーク）」主宰者として、中小企業支援活動を全国展開しているほか、外務省参与として中小企業の海外進出、経済産業省関東経済産業局「新連携支援」政策の事業評価委員長として、中小企業の連携活動支援にも関わっている。



## 岩田 公雄

いわた きみお

ジャーナリスト  
学習院大学特別客員教授

## 「時代の風」

D

1949年北海道生まれ。学習院大学卒業後、読売テレビ入社。事件記者として、グリコ森永事件など国内の重要事件を担当。1987年マニラ初代特派員、初代支局長就任。三井物産若王子マニラ支店長誘拐事件、日本赤軍潜伏事件、中国・天安門事件の現場で取材に当たる。海外取材国はNY同時多発テロ現場、アフガン国境、サミット取材など40ヶ国を超える。1992年から2011年迄の約20年、読売テレビ、「ウェークアップ！ぷらす」にレギュラー出演。現在、「情報ライブ、ミヤネ屋」で、政治・外交等の解説担当。2015年読売テレビ退社。ジャーナリスト活動と併せて、学習院大学特別客員教授も務める。



## 大宅 映子

おおや えいこ

評論家・公益財団法人大宅壮一文庫理事長

## 「どうしたら日本を元気に出来るか」

C

東京都生まれ。1963年国際基督教大学卒業後、PR会社勤務を経て、1969年(株)日本インフォメーション・システムズ(NIS)を設立、代表取締役社長を務める。NISでの企業や団体の文化イベントの企画プロデュースの傍ら、1978年から始めたマスコミ活動では、国際問題・国内政治経済から食文化・子育てまで幅広く活躍し、大所高所からの視野と同時に個人の立場で発言する切れ味のよいコメントが好評である。2014年日本年金機構の非常勤理事就任。現在、レギュラー番組はTBS系ラジオ「大宅映子の辛口コラム」、TBS TV「サンデーモーニング」



## 岡本 行夫

おかもと ゆきお

外交評論家

## 「激動する国際情勢と日本の課題」

B

1945年神奈川県出身。1968年一橋大学経済学部卒業後、外務省入省。1991年退官。同年、岡本アソシエイツ設立、代表取締役就任。橋本内閣で1996～1998年総理大臣補佐官(沖縄担当)。小泉内閣で2001年より内閣官房参与、2003年～2004年、総理大臣補佐官(イラク問題担当)。2012年にはマサチューセッツ工科大学CISシニアフェロー就任。国際問題の専門家として、政府関係機関や企業への助言活動の傍ら、講演や新聞、書籍、雑誌への執筆など幅広く活動。中国の台頭、台湾問題、韓国北朝鮮など激変する東アジア情勢と今後の展望を岡本氏独自の視点から最新情報と将来の展望を語る。



## 蟹瀬 誠一

かにせ せいいち

国際ジャーナリスト・キャスター

## 「世界の潮流と日本経済の変化を読む」

C

1950年生まれ。1974年上智大学文学部新聞学科卒業後、米AP通信社記者、米「TIME」誌特派員を経て、1991年TBS「報道特集」キャスターとして日本のテレビ報道界に転身。文化放送「蟹瀬誠一、ネクスト」のパーソナリティ、「経済討論バトル頂上決戦」「賢者の選択」などのキャスターを務め、また環境NPO理事としても活躍。2004年から明治大学文学部教授、2008年同大学国際日本学部初代学部長を務める。現在は同大学国際日本学教授。日本の政治・経済が抱えている問題点、財政赤字、年金、税金、少子高齢化などの論点を分かり易く歯切れ良い口調で語る。



## 北川 正恭

きたがわ まさやす

早稲田大学マニフェスト  
研究所顧問

## 「地方創生時代の地方政治」

B

1944年三重県生まれ。1967年早稲田大学卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2003年退任。同年早稲田大学大学院公共経営研究科教授。2015年退任し。現在、早稲田大学名誉教授、同マニフェスト研究所顧問。「新しい日本をつくる国民会議」の共同代表も務める。



## 櫻井 よしこ

さくらい よしこ

ジャーナリスト

## 「日本人の進むべき道」

A

ベトナム生まれ。新潟県立長岡高等学校卒業、ハワイ大学歴史学部卒業。1971年よりクリスチャン・サイエンス・モニター紙東京支局の助手としてジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団DEPTH NEWS記者、東京支局長を経て、1980年から日本テレビ「きょうの出来事」のメインキャスターを16年間務める。落ち着いた語り口と鋭い切り口で日本の女性ニュースキャスターの草分けとして活躍。2007年にシンクタンク「国家基本問題研究所」を設立し、国防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の長期戦略の構築に挑んでいる。主な著書「日本の決断」「日本よ、歴史力を磨け」



## 志方 俊之

しかた としゆき

帝京大学法学部教授／  
東京都災害対策担当参与

## 「揺れる国際情勢と日本の安全保障」

D

1936年静岡県生まれ。1958年防衛大学（第2期）卒業後、防衛庁入庁。北部方面總監を最後に1992年退任。現在は帝京大学法学部教授として教壇に立つとともに、軍事アナリストとして活躍。2001年内閣府・中央防災会議専門委員に任命される。長年にわたり、自衛隊一筋に歩んできたわが国では数少ない軍事問題の専門家の一人。アメリカ陸軍戦略大学に学んだ経験と主要国軍事関係者との強い交流やネットワークをもち、米ソ冷戦時代の国際的軍事バランスや冷戦終結後の新たな諸情勢の変化を研究するなど世界のホットな軍事事情に精通する。



## 鷹 信彦

しま のぶひこ  
ジャーナリスト

## 「国際情勢を読む」

C

1967年慶應大学経済学部卒業後、毎日新聞社入社。経済部勤務を経て、1981年ワシントン特派員。サミットを始めIMF等の国際会議を取材。東京本社経済部を最後に1987年同社を退社、フリーとなる。1997年迄、TBSテレビ「ブロードキャスター」のコメンテーターを7年間務める。BS-TBS「グローバルナビ・フロント」は2000年放送開始より15年間メインキャスターを務める。またNPO「日本ニュース時事能力検定協会」理事、NPO「日本ウズベキスタン協会」会長。先進国サミットの取材は約30回に及ぶ。



## 田崎 史郎

たざき しろう

時事通信社特別解説委員  
政治評論家

## 「日本の政治はこれからどうなるか？」

D

1950年福井県生まれ。1973年中央大学法学部法律学科卒業後、時事通信社入社。経済部を経て、1979年政治部に配属。平河（自民党担当）記者クラブで2年9ヶ月間、田中角栄元総理が率いる田中派を担当。1993年政治部次長。編集委員、整理部長等を経て、2006年から解説委員長。2010年解説委員。定年に伴い、2015年から特別解説委員。自民党はじめ民主党、公明党、維新の会などを幅広く取材。政治取材は36年余。TBS系「ひるおび!」「朝チャンサタデー」「ニュースキャスター」、フジTV系「グッデイ」「めざましテレビ」「とくダネ!」、日本テレビ系「ウエークアップぷらす」などに出演。



## 手嶋 龍一

てしま りゆういち

外交ジャーナリスト  
作家

## 「インテリジェンスの本質とは」

C

1949年北海道生まれ。外交ジャーナリスト、作家、元NHKワシントン支局長。9.11テロ事件では11日間にわたる24時間連続の中継放送を担当。2005年NHK退社。外交ジャーナリストとなる。2006年に日本で初めてのインテリジェンス小説「ウルトラ・ダラー」は物語が現実を追いかけしていると注目され一躍ベストセラーに。外交・安全保障問題にめぐっては新聞・雑誌にも多数寄稿。2006年～2015年慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント学科専任教授。主な著書「インテリジェンス武器なき戦争」「ブラック・スワン降臨」他多数



## 寺島 実郎

てらしま じつろう

(一財)日本総合研究所理  
事長  
多摩大学学長

## 「21世紀の戦略的課題と選択」

B

1947年北海道生まれ。73年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産(株)入社。米国勤務等を経て、99年より三井物産戦略研究所所長、09年三井物産(株)常務執行役員を退任し、多摩大学学長に就任。また01年より日本総合研究所理事長、06より同会長。現在、文科省・中教審委員、経産省・情報セキュリティ基本問題委員会委員長、内閣官房・宇宙開発戦略本部宇宙開発戦略専門調査会座長など兼任。主な著書「リベラル再生の基軸—脳力のレッスンIV」「二十世紀から何を学ぶか」



## 萩谷 順

はぎたに じゅん

法政大学法学部教授  
ジャーナリスト

## 「どうなる日本—揺れる政局・経済の動きを読む」

D

1971年東京大学法学部卒業後、朝日新聞記者として、国内政治担当を経て、ドイツのメディアで記者、キャスターを経験。1988年からは、朝日新聞海外特派員として、様々な国へ駐在し国際報道を行ってきた。2005年朝日新聞社を退社。現在は、法政大学教授として教鞭をとるとともに、「スーパーJチャンネル」のコメンテーターを中心に活躍中。

地方の再生は日本経済全体の再生の中で実現するというを前提に、日本経済の現状と先行き、国際経済危機と日本の将来の関係、さらに現在の政治の問題点などを解説する。



## 橋本 五郎

はしもと ごろう

読売新聞 特別編集委員

## 「日本再生のための処方箋」

C

1946年秋田県生まれ。慶應大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。社会部、政治部、論説委員、政治部長、編集局次長を歴任。99年より日本テレビキャスターとして、「ズームイン!!朝!」などの番組にコメンテーターとして出演。現在は、読売新聞社の特別編集委員を務める傍ら、日本テレビ系の選挙特番や読売テレビ制作「ウェークアップ!ぷらす」などの報道番組に出演。

講演では、記者としての長年にわたる取材経験を元に、今後の日本の政治・経済のゆくえについて解説する。親しみやすい語り口とポイントを押さえた分かり易い解説は好評を博している。



## 長谷川 幸洋

はせがわ ゆきひろ

ジャーナリスト

## 「安倍政権と今後の日本」

D

1953年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。1977年中日新聞社入社。東京本社（東京新聞）経済部勤務、ジョンズホプキンス大学高等国際問題研究大学院にて国際公共政策修士取得。ブリュッセル支局長などを経て論説委員を務める。2010年からジャーナリストとして活躍。テレビ番組や対談で見せる鋭いコメントは視聴者の疑問や不満の核心をついたものとして人気が高い。講演では、その時点で最もホットな政治・経済・国際情勢の深層を、首相や官房長官など政権中枢部の取材を基に解説する。著書「日本国の正体 政治家・官僚・メディアー本当の権力者は誰か」にて、2009年山本七平賞受賞。



## 三反園 訓

みたその さとし

テレビ朝日コメンテーター

## 「政局と日本経済の今後」

D

1958年鹿児島県生まれ。早稲田大学卒業後、テレビ朝日へ入社。社会党担当を振り出しに、政治記者となる。総理官邸、自民党担当時代には金丸信副総理や安倍晋太郎幹事長など主要な政治家を担当。1990年頃からは、テレビ『ニュースステーション』の政治担当キャスターとして活躍。またこの間、中曽根康弘総理から小泉純一郎総理までの歴代総理のサミットに同行するなど内閣・与野党要人との数多くの海外同行取材歴を持つ。

三反園氏が取材を通して得た政界・財界のリーダー達の様々なエピソードを交えての講演は好評を得ている。



## 宮家 邦彦

みやけ くにひこ

キャノングローバル戦略研究所主幹

## 「オバマ米政権の外交政策と中東情勢」

C

1978年東京大学法学部卒業後、外務省入省。カイロ、バグダッド、ワシントン、北京にて大使館勤務。本省では、外務大臣秘書官、中東第二課長、中東第一課長、日米安保条約課長、中東局参事官などを歴任。2005年退職後、(株)外交政策研究所を設立。

2006年立命館大学客員教授。2006～2007年安倍内閣「公邸連絡調整官」として首相夫人を補佐。2009年よりキャノングローバル戦略研究所主幹（外交安保）。現在、コンサルティング・サービスの他、評論、論説、書評、内外メディアによるインタビューなどを通じ、タイムリーで有益な情報分析を提供している。



## 森本 敏

もりもと さとし

安全保障スペシャリスト  
拓殖大学特任教授、元・  
防衛大臣

## 「当面する国際情勢と日本外交」

C

1941年東京都生まれ。防衛大学理工学部卒業後、防衛庁入省。1977年に外務省アメリカ局安全保障課に出向。1979年外務省入省。在米日本国大使館一等書記官、情報調査局安全保障政策室長など一貫して安全保障の実務を担当。1992年より9年間、野村総研主席研究員を務める。2000年より拓殖大学国際開発部教授。2005年より拓殖大学海外事情研究所所長を経て、現職。2009年初代防衛大臣補佐官。2012年第11代防衛大臣就任。民間人初。安全保障（外交・防衛・国際政治・危機管理を含む）のスペシャリスト。大学教授を務める傍ら、テレビ・ラジオ出演は年間100回以上。



## 渡辺 利夫

わたなべ としお

拓殖大学総長

## 「激動するアジアの明日を展望する」

D

1939年山梨県生まれ。慶応義塾大学卒業、同大学院博士課程修了。経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授、拓殖大学教授、拓殖大学学長を経て、現在、拓殖大学総長。講演では、中国のみならずアジア全体の歴史背景から、経済情勢に至るまで、明快な語り口で解き明かす。歯に衣着せぬ辛口評論には定評がある。

主な著書「成長のアジア停滞のアジア」（吉野作造賞）、「開発経済学」（太平正芳記念賞）、「西太平洋の時代」（アジア太平洋賞大賞）、「神経症の時代」（開高健賞正賞、フジサンケイグループ正論大賞）等、多数。



## 有森 裕子

ありもり ゆうこ  
オリンピック女子マラソン  
メダリスト

### 「よろこびを力に・・・」

A

1966年岡山県生まれ。日本体育大学卒業後、㈱リクルート入社。1992年バルセロナ五輪で銀メダル、1996年アトランタ五輪で銅メダルを獲得。2007年「東京マラソン2007」でプロマラソンランナー引退。現在は、国内外のマラソン大会やスポーツイベントに参加する一方、NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」の代表理事、またスペシャルオリンピックス日本理事長として、国際的な社会活動に取り組んでいる。「世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること」「二度とやっこない一瞬一瞬を精一杯に生きること」を信条に、今を輝くための挑戦をメダリスト有森裕子が熱く語る。



## 石原 新菜

いしはら にいな  
医師・イシハラクリニック  
副院長

### 「医者いらずのかんたん健康法」

D

1980年長崎県生まれ。幼少期をスイスで過ごし、帰国後は伊豆の緑豊かな環境に育つ。医学生の頃から自然医学の第一人者で医学博士の父、石原結實と共にメキシコのゲルソン病院、ドイツのミュンヘン市民病院自然療法科、イギリスのブリストル・キャンサー・ヘルプセンターなどを視察し、自然医学の基礎を養う。2006年帝京大学医学部卒業、2年間の研修医を経て、現在は父の経営するクリニックで漢方薬処方、自然療法、食事療法を中心とする診療を行う。テレビ・ラジオへの出演や、執筆、講演活動も積極的に行っている。著書「病気にならない蒸しショウガ健康法」は13万部を超えるベストセラーに。



## 大城 和恵

おおしろ かずえ  
国際山岳医

### 「チャレンジ！こころと身体の健康のために」

E

長野県出身。都内の大学医学部を卒業後、大学病院勤務を経て、2002年札幌市の心臓血管センター北海道大野病院に勤務。「山で命を落とす人を一人でも減らしたい」と2010年英国の講習会で日本人初の国際山岳医の資格を取得。同年心臓血管センター北海道大野病院・附属駅前クリニックにて登山者外来開始。2011年北海道警察山岳救助アドバイザー医師に就任。2013年世界最高齢の80歳でネパールのエベレストを登頂した三浦雄一郎氏の海外遠征やイモトアヤコのマナスル登山にも担当医師として同行。



## 尾川 智子

おがわ ともこ  
プロフリークライマー

### 「前向き思考で”岩の下にも3年”」

E

1978年生まれ。宇宙飛行士を目指して進学した早稲田大学理工学部物理学科卒業。在学時の2000年、国体山岳競技に誘われたことがきっかけで、クライマーの道へ。2003年「Asian X-games」で優勝し、競技歴わずか3年でアジアのトップクライマーとなった。2006年も同大会で優勝。その後、チャレンジの舞台を自然界の岩場に移し、2008年4月に日本人女性初となる難度V12を達成。翌年2009年秋より女性では前人未至の難度V14の岩に挑み始め、ついに2012年10月に完登。2012年には世界で最も活躍したクライマーに贈られる「Golden Piton」賞、2014年には「Golden Climbing Shoes賞」受賞。



## 川淵 三郎

かわぶち さぶろう  
日本サッカー協会最高顧問  
日本バスケットボール協会  
会長

### 「夢があるから強くなる」

C

1936年大阪府生まれ。1962年早稲田大学卒業後、古川電工入社しサッカー一部所属。1964年東京オリンピック出場するなどサッカー選手として活躍。現役引退後は日本サッカーリーグ常任運営委員、ロスオリンピック強化部長、日本サッカーリーグ総務主事を歴任後、(財)日本サッカー協会理事就任。1991年Jリーグ設立、初代チェアマン就任。1993年Jリーグ開幕を宣言。また2002年日韓W杯招致にも尽力し、Jリーグチェアマンとして活躍。その後、日本サッカー協会会長キャプテンを6年務め、名誉会長を経て、2012年より最高顧問就任。2015年ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ理事長就任。同年5月日本バスケットボール協会会長就任。



## 北澤 豪

きたざわ つよし  
元・サッカー日本代表  
財団法人日本サッカー協  
会理事

### 「強いチーム・組織とはどのようなものか」

B

1968年東京都生まれ。読売サッカークラブ・ジュニアユース所属。修徳高校卒業後、本田技研サッカー部を経て、1991年読売クラブ（現東京ヴェルディ）へ。日本代表として多数の国際試合で活躍。2003年現役引退後は、JICAオフィシャルサポーターや様々な公職を務め、サッカー解説者としてメディアにも多数出演し、サッカーの更なる発展・普及活動に努めている。講演では、サッカーW杯に見る各時代の「強いチーム」とは？監督の人心掌握術や監督と選手の関わり方は？また「強いチーム」には何が重要なのか？リーダーの在り方、強いチームの作り方などエピソードとともにお話しします。



## 古賀 稔彦

こが としひこ  
柔道家・古賀塾塾長

### 「勝負魂～決心することの大切さ」

C

1967年福岡県生まれ。佐賀県出身。弦巻中学、世田谷学園高校時代に数々の全国大会を制覇。日本体育大学進学後“平成の三四郎”の異名をとり、世界選手権2階級制覇をはじめ、3度のオリンピック挑戦。1992年バルセロナ五輪では、大会直前に大怪我を負いながらも金メダルを獲得。日本中の感動を呼んだ。また1996年アトランタ五輪では銀メダルを獲得。2000年現役引退し「指導者」として、全日本女子柔道チーム強化コーチを務める傍ら、2003年～は町道場「古賀塾」を開塾。2007年IPU環太平洋大学体育学部教授、女子柔道部総監督を務め、2010年女子柔道部創部4年目で初優勝、翌年2連覇達成。



## 坂田 信弘

さかた のぶひろ  
プロゴルファー・作家

### 「ゴルフが教えてくれたもの」

B

1947年熊本県生まれ。24歳で初めてクラブを握り、3年11ヶ月という当時としては異例の速さで日本プロゴルフ協会プロテスト合格。88年ナイジェリアイバダンオープン優勝。93年より世界に通用するトップゴルファーを育成することが一番の早道と考え、地元熊本に「坂田ジュニアゴルフ塾」を開塾。過去の教え子には上田桃子や古閑美保など多数のトッププロが存在する。礼節を重んじ文武両道であることが重要という坂田流ゴルフ理論。96年、ゴルフ界特別功労賞受賞。主な著書「叱る力」また作家、漫画原作者として「風の大地」「奈緒子」



## 佐藤 達夫

さとう たつお  
食生活ジャーナリストの  
会代表幹事

### 「おとなの食育」

E

1947年千葉県生まれ。1971年北海道大学水産学部卒業。1980年女子栄養大学出版部へ勤務。月刊「栄養と料理」の編集に携わり1995年より同誌編集長を務める。1999年独立し、食生活ジャーナリストとして、様々なメディアを通じて情報発信をしている。講演では生活習慣病による肥満や糖尿病のメカニズムや、「健康長寿のための食事と生活」などの最新情報を食生活ジャーナリストの視点で分かり易く語る。また健康を保つ上で欠かせない「安全な食品の選び方」「体に良い食べ物とは？」など、テレビでは放映出来ない「食の真実」もお話しします。



## 白石 豊

しらいし ゆたか  
福島大学  
人間発達文化学類教授

### 「最高の目標を達成する心の使い方」

D

1954年岐阜県生まれ。1979年筑波大学大学院体育研究科修了。現在、福島大学人間発達文化学類教授として、トップアスリート選手にメンタルトレーニングの指導を行う。独自のメンタルトレーニング理論により、女子バスケットボールの五輪日本代表チームをはじめ、スピードスケート五輪銀メダリストの田畑真紀選手、2005年最多勝を挙げたプロ野球・下柳剛投手やサンフランシスコ・ジャイアンツの田中賢介選手など数多くのスポーツ選手を指導。さらに2010年サッカー日本代表の岡田監督のチームづくりをサポートするなどトップアスリート達のメンタルコーチとして活躍。



## 瀬古 利彦

せこ としひこ  
エスビー食品㈱  
スポーツ推進局局長

### 「心で走るーマラソンの真髄」

B

1956年三重県生まれ。早稲田大学入学後、中村監督との出会いをきっかけにマラソンランナーに。80年、エスビー食品入社。福岡国際マラソン4勝をはじめ、東京、びわ湖、ボストン、ロンドン、シカゴ等、世界の主要な大会を制し日本のマラソンブームを創り上げた。84年、ロサンゼルスオリンピック、88年、ソウルオリンピック日本代表。同年、現役を引退。同社陸上競技部監督（05年迄）を経て、現在、同社スポーツ推進局局長として陸上競技部を統括する傍ら、講演やスポーツイベントを通じて陸上競技の普及に努めている。



## 立花 龍司

たちばな りゅうじ  
コンディショニング  
コーチ

### 「日米プロ野球の監督に学ぶリーダーシップ」

D

1964年生まれ。天理大学体育学部でスポーツ医学を専攻。高校時代に肩を壊しプレイ続行を断念するが、指導者の道を目指し、まだ「コンディショニングコーチ」という言葉さえ存在しなかった時代に、その道をひたすら走る。1989年近鉄バッファローズのコンディショニングコーチとして入団。その後、千葉ロッテマリーンズ、楽天へ。1997年にはNYメッツにて日本人初のメジャーリーグコーチも経験。講演では、日米の組織の違いから生まれる指導者・指導方法などを「指導者に求められる行動とは」「指導者に求められる言動とは」など親しみやすい関西弁で語る立花氏の講演は好評を得ている。

**タック川本**

たっかわもと  
国際ビジネス&スポーツ  
アナリスト

**「メジャーリーグに学ぶ経営戦略」**

E

1943年東京生まれ。早稲田大学卒業後、南米アマゾン川で探検、研究生活を送る。その後、米国にて国際情報社会学、インターナショナルスポーツファイナンシャルマネージメントを研究し、ビジネスコンサルタントとして活躍。2002年創立42年目にしてワールドチャンピオンの快挙を成し遂げたロサンゼルス・エンゼルススのフロントに在籍した実務家。日米でビジネス&スポーツアナリスト、講演家、著述家としてテレビ・ラジオ・講演会などで幅広く活躍中。講演では“メジャー流・人心掌握術”“ビジネス成功鉄則”などをテーマにメジャーを通して体験した経営や人生の教訓を熱く語る。

**田中ウルヴェ京**

たなかうるゑみやこ  
上級メンタルトレーナー  
ソウル五輪シンクロデュ  
エット銅メダリスト

**「打たれ強い心のつくり方」**

D

1967年東京生まれ。日本大学在学中の1988年、ソウルオリンピックで小谷実可子とのデュエット競技で銅メダルを獲得。五輪後10年間の日米仏の代表コーチ業とともに、6年半の米国大学院留学で修士取得。2001年から起業し、ピラティススタジオを経営。アスリートからビジネスパーソンなど幅広くメンタルトレーニングを指導。スポーツ心理学、認知行動療法、キャリアプランニングなどの理論を構築し、様々な講演、研修、執筆などで幅広く活躍中。著書訳書多数。フランス人の夫との間に2児を持つ。

**塚原 光男**

つかはら みつお  
財日本体操協会副会長  
体操五輪・金メダリスト

**「果てしなき挑戦」**

D

1947年東京都出身。メキシコ、ミュンヘン、モントリオールの3大会で、団体3個、個人2個の金メダルを獲得。1972年のミュンヘン大会で金メダルを獲得した鉄棒では「月宙宙返り（ムーンサルト）」の独創的な大技を編み出し「体操ニッポン」の黄金時代を築きあげた。引退後はコーチとして後進の指導にあたり、男子団体の金メダルを獲得したアテネオリンピックでは総監督を務めた。アテネオリンピックの金メダルメンバー塚原直也選手は長男である。また日本オリンピック委員会理事として、2012年ロンドンオリンピック日本代表選手団総監督を務め、史上初の38個のメダル獲得に貢献した。

**二宮 清純**

にのみや せいじゆん  
スポーツジャーナリスト

**「勝者の思考法」**

C

1960年愛媛県生まれ。日本大学商学部卒業。スポーツ紙や流通紙の記者を経て、フリーのスポーツジャーナリストとして独立。2000年より㈱スポーツコミュニケーションズ代表取締役。スポーツジャーナリストとして、世界各国でオリンピック、サッカーW杯、メジャーリーグ、ボクシング世界戦など、国内外で幅広い取材を展開中。スポーツジャーナリストとして活躍する一方、「地域」発展の主人公はその地域に住む住民達であると考え、地域と住民を中心とした総合スポーツクラブ作りにも尽力。現在、テレビのスポーツニュースや報道番組のコメンテーターとしても幅広く活躍中。

**平尾 誠二**

ひらお せいじ  
㈱神戸製鋼所ラグビー部  
ゼネラルマネージャー  
兼 総監督

**「ラグビーに学ぶリーダーシップと強い組織づくり」**

C

1963年京都生まれ。同志社大学入学。在学中、史上初の大学選手権3連覇に貢献。卒業後、神戸製鋼所に入社し、入社3年目よりチームを7年連続日本一に導く。現役引退後は、1997年から2000まで日本代表監督を務め、1999年のワールドカップにチームを導く。神戸製鋼ラグビー部では、ゼネラルマネージャーとしてチームの運営にあたる。2012年ラグビーフットボール協会理事就任。強い「個」とリーダーが存在する組織とは、どんな機能を果たすのか。またそのような組織を、どう創造したらいいのか。ラグビー経験を通じ、学び考えた平尾氏がリーダーシップ論、組織論を語る。

**舞の海 秀平**

まいのうみ しゅうへい  
NHK大相撲解説者  
スポーツキャスター

**「決してあきらめない」**

B

1968年青森県生まれ。日本大学卒業後、山形県の高校教師の内定が決まっていたが、夢であった大相撲への道を叶えるため周囲の反対を押し切り大相撲入りを決意。しかし基準の身長に足りず新弟子検査に不合格。頭にシリコンを入れる手術をし、壮絶な一ヶ月を過ごし、二度目の検査で合格。1990年出羽海部屋入門。翌年十両（四股名：舞の海）に昇進し、同年幕内入りを果たす。角界最小の身体ながら「猫だまし」「八艘飛び」などファンを驚かせる数々の技を繰り出し、“技のデパート”の異名を取る。現在はNHK大相撲解説者などを務めるほか、テレビ・スポーツキャスターとして幅広く活躍中。





### 松木 安太郎

まつき やすたろう

元サッカー日本代表/サッカー解説者

## 「人生というゲームの中で」

C

1957年東京都生まれ。1975年日本サッカーリーグデビュー。16才で読売サッカークラブ・トップチームに最年少選手として登録され、トップレベルでのプレーを開始。1990年現役引退。同年、読売サッカークラブ・ユース監督に就任。1993年ヴェルディ川崎（現：東京ヴェルディ）の監督に就任。Jリーグ開幕の年からチームを率い、多くのタイトルに導く。その後、セレッソ大阪監督、東京ヴェルディ監督に就任。現在は、テレビのサッカー解説を中心に幅広く活躍中。トップリーグでの選手、コーチ、監督という様々な経験を通し、現役当時のエピソードも交え、軽快に語られる講演は、盛り上がりも抜群。



### 三屋 裕子

みつや ゆうこ

スポーツプロデューサー・ロス五輪バレーボール銅メダリスト

## 「バレーボールに教えられた私の熱い人生」

B

筑波大学時代“大学の星”としてユニバーシアードに3回出場し、1979年全日本入り。1981年名門・日立入社。爽やかな笑顔と高さのあるシャープな攻撃で、東京開催ワールドカップで人気沸騰、女子バレーブームに火をつけた。ロサンゼルス五輪では銅メダル獲得。オリンピック後、かねてからの希望であった教職の道に転身する。その後は上場企業の社長も務める。アスリート、教員、経営者という異色の活躍をベースに、現代の社会問題となっている高齢化に伴う健康問題にいち早く取り組んできた。多くのスポーツプロデュースを手掛け、各種スポーツ団体活動を通し社会貢献している。



### 村口 史子

むらぐち ふみこ

プロゴルファー・ゴルフ解説者

## 「健康でゴルフを楽しむために」

C

千葉県出身。習志野高校卒業後、一旦OL生活を経てから、プロゴルファーを目指し千葉CCに入社。1990年プロテスト合格。デビュー戦で最終日に8バーディ2ボギーの66で回り8位となり注目を集める。翌年初優勝。1999年には年間3勝を挙げ、初の賞金女王に輝く。2004年シード権を獲得しつつも最終戦終了後、ツアーから電撃的に引退。同年、日本プロスポーツ大賞功労賞受賞。その後は、トーナメント解説、レッスン番組への出演、コラム連載、講演会など様々な分野で活躍中。特にトーナメント中継では、ラウンドリポーターのポジションを確立した。講演会後半のレッスンは好評。



### 室伏 重信

むろふし しげのぶ

元ハンマー投げ五輪選手/中京大学名誉教授

## 「可能性への挑戦」

D

1945年生まれ。1968年日本大学経済学部卒業、大昭和製紙入社。中京大学体育学部講師、助教授を経て1989年より教授。2011年退職。ハンマー投げで日本歴代2位の記録（75m96cm）を持ち、オリンピック代表4回。アジア大会6回出場（うち5連勝）など数々の功績を残し「アジアの鉄人」と呼ばれた。その後、大学で教鞭を執る傍ら、陸上コーチとして多くの選手の技術面・精神面の指導・サポーターにあたるなど、日本陸上界に大きく貢献した。長男である室伏広治も、父の指導のもと親子二代にわたるハンマー投げ選手として2004年アテネオリンピックで金メダル、2012年ロンドン五輪では銅メダルを獲得。



### 柳本 晶一

やなぎもと しょういち

アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーチーム監督

## 「力を引き出す～どん底から個人と組織を甦らせる」

B

1951年大阪府生まれ。現役時代は、全日本男子代表のセッターとして活躍。また実業団チーム・新日鐵では、選手兼監督も務めた。1991年現役引退後は、専任監督となる。Vリーグ女子・東洋紡オーキスの監督を経て、2003年全日本女子チームの監督へ就任。吉原知子選手をキャプテンへ復帰させ、大山加奈選手、栗原恵選手等の若手選手の育成に力を注ぐなど、その手腕に注目が集まった。低迷していた全日本女子チームをアテネ、北京の2つのオリンピックへ導き、全日本女子バレー復活請負人とも呼ばれた。講演では、選手を育てオリンピックへ導いたその指導哲学を語る。



### 湯浅 景元

ゆあさ かげもと

中京大学スポーツ科学部教授

## 「老いない身体をつくる」

E

1947年名古屋市生まれ。中京大学体育学部卒、東京教育大学大学院体育学研究科修了。体育学修士、医学博士。中京大学にて「コーチング論」「スポーツ環境論」を担当。現在、中京大学スケート部部长として、浅田真央選手、小塚崇彦選手らの教育にもあたっている。NHK総合テレビ「NHKスペシャル」、NHK教育「きょうの健康」等のテレビ出演や講演会などを通して、健康づくりのための運動の大切さの普及に努めている。講演では、身近なスポーツ選手のトレーニング方法や、強さの秘訣をユーモアと笑いを交え解説する。また湯浅氏のテンポの良い掛け声のもと、イスに座ったまま数秒で出来る簡単な体操も好評を得ている。



### 家田 荘子

いえだ しょうこ

作家・高野山真言宗僧侶  
(大僧都)

## 「取材現場から～私の出逢った人たち」

D

日本大学芸術学部放送学科卒業。高野山大学大学院・文学研究科密教学専攻修士課程修了。女優、OLなど10以上の職歴を経て作家に。1991年『私を抱いてそしてキスして～エイズ患者と過ごした一年の壮絶記録』で大宅壮一ノンフィクション賞受賞。2007年高野山大学にて伝法灌頂を受け僧侶に。住職の資格を持つ。高野山の奥の院、または総本山金剛峯寺にて駐在し、法話を行っている。著書は「極道の妻たち」「歌舞伎町シノギの人々」「四国八十八カ所つなぎ遍路」等、129作品。近著に、取材・執筆に4年かけた「少女は、闇を抜けて 女子少年院・榛名女子学園」「女性のための般若心経」がある。



### 生島 ヒロシ

いくしま ひろし

キャスター

## 「経営者のための“さすが！と言われるスピーチ術”」

B

1950年宮城県生まれ。1975年カリフォルニア州立大学卒業。1976年TBS入社。ラジオ番組を振出しに、アナウンサーとして活躍。1989年独立。その後、ファイナンシャルプランナー、NPO日本食育インストラクター、防災士、ヘルスケアアドバイザー、金融知カインストラクター等、多数の資格を取得。

主なレギュラー番組：TBSラジオ系「生島ヒロシのおはよう定食・一直線」「生島ヒロシのサタデー・一直線」テレビ・ラジオはもとより、年間100回以上の講演や司会をする、しゃべりのプロ・生島ヒロシ氏が、誰でもできる上手な話し方、スピーチのコツについてお話しします。



### 井沢 元彦

いざわ もとひこ

歴史小説作家

## 「逆説の日本史～歴史に学ぶ日本の将来～」

D

1954年愛知県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、TBS入社。1980年報道局記者時代に『猿丸幻視行』にて第26回江戸川乱歩賞受賞。

31才で退職し、以後、作家活動に専念。歴史ミステリーや評論で独自の境地を拓いている。週刊ポスト連載の「逆説の日本史」は、800回を超えてなお回を重ねている。現在、「週刊ポスト」「SAPIO」「夕刊フジ」「東京スポーツ」連載中。一方、NHK「歴史発見」、日本テレビ系「ウェークアップ」、TBS系「ここがヘンだよ日本人」などに出演。講演では深い知識と高い見識に基づき、歴史の真相を題材に理路整然に分かり易くひも解き解明する。



### 石原 良純

いしはら よしずみ

俳優・気象予報士

## 「石原家の人びと～家族&自然への想い～」

A

1962年神奈川県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。1984年松竹富士映画「凶弾」でデビュー。その後、舞台、映画、テレビドラマなどに多数出演。2007年NHK連続テレビ小説「どんと晴れ」、2008年度NHK木曜時代劇「鞍馬天狗」2009年度NHK大河ドラマ「天地人」出演。一方、湘南の空と海を見て育ったことから気象に興味をもち、気象予報士試験へ挑戦。1997年見事合格、お天気キャスターとして、お茶の間の人気を得る。2001年に出版された「石原家の人びと」はベストセラーとなり作家としても注目を集める。官公庁・地方自治体・電力会社等の環境講演会、シンポジウムなど、幅広く活躍中。



### 一龍斎 貞花

いちりゅうさい ていか

講師

## 「戦国武将に学ぶ生き残り戦略」

D

1939年愛知県生まれ。29歳の時、サラリーマンより転身。1976年五代目「一龍斎貞花」を襲名し真打ちとなる。1990年愛知県知事ボランティア賞受賞。毎年チャリティー寄席『花の会』主催。ドラゴンズOB会より、永年ファン感謝状を受ける。古典講演のみならず、仏教講演、ビジネス講演、社史講演、一代記講演、野球講演など幅広く活躍中。武将の生きざま、生き残り処世術を鮮やかに活写、また企業トップのあるべき姿を、歴史上の人物に重ね合わせながら語る講演は好評を得ている。主な著書「戦国武将生死を賭けた烈語」「歴史に学ぶ長命はこうして、短命はこの結果」他多数。



### 加来 耕三

かく こうぞう

歴史家・作家

## 「変革期におけるリーダーの条件」

D

1958年大阪生まれ。奈良大学文学部史学科卒。1983年より著作活動に入る。作家としては一度、関心をもったテーマ、歴史上の人物を繰り返し可能な限り調査・分析することで新たな資料の発掘や新たな解釈が可能となると、いかに売れている書籍でも品切れ・絶版とし、改めて執筆・刊行するところにある。現在は大学、企業の講師を務めながら、歴史家・作家として著作活動を行っている。講演では“使えない歴史は意味が無い”と、“歴史”をいかに日常生活や仕事に活用するか具体的に語る。書籍には掲載されていない時事情報や分析報が聴けると好評。



### 菊野 昌宏

きくの まさひろ  
独立時計師

## 「よみがえる和の刻(とき)」

E

1983年北海道生まれ。陸上自衛隊勤務を経て、2005年ヒコ・みずのジュエリーカレッジ入学。2009年同校講師を務める。2011年AHC I（独立時計師作家協会）準会員。2013年AHC I 正会員。本を手本に図面を起こし、0.1ミリ単位の部品を手作業で削り出し、様々な難問に取り組む中、からくり義右衛門の制作した時計に心を掴まれ、腕時計の世界にそれを再現することに挑戦。季節により変化する和歴に従った時間の変化を小さな世界に閉じ込めることを成功させ、2011年スイスの展示会に日本人として初めて出展し、独立時計師（世界で35名、日本人は2名）としてデビューする。



### 北原 照久

きたはら てるひさ  
㈱トイズ代表取締役

## 「私の生き方」

B

1948年東京都生まれ。青山学院大学卒業。いまやブリキのおもちゃコレクターの第一人者として世界的に知られている存在。長寿番組、テレビ東京の「開運！なんでも鑑定団」の鑑定士として人気を博す。北原氏は鑑定士のみならず、コレクターとしても自分のコレクションのアンティーク・トイを人々に公開することによりミュージアム・ビジネスも成功させた。常に明るくプラス発想、人や物を大切にす愛情あふれた人柄がそのまま反映された北原氏の講演は、幅広い世代に勇気と元気を与えてくれる。



### 草野 仁

くさの ひとし  
TVキャスター

## 「いつもチャレンジ精神で」

A

1944年満州生まれ。長崎県育ち。東京大学卒業後、NHKへ入社し、アナウンサーの道へ。オリンピックをはじめとし数々のスポーツ実況中継や、「ニュースセンター9時」「ニュースワイド」等のニュースキャスターを務めた。1985年NHK退職後は、「世界ふしぎ発見！」(TBS)の司会をはじめとし、フリーのTVキャスターとして活躍中。バラエティー番組にも多数出演し、その物腰の柔らかさ、知識の豊富さ、磨かれた話術で老若男女から人気を集めている。講演では放送人生活、約40年における様々な体験と素晴らしい共演者達の知られざるエピソードをユーモアたっぷりに語る。



### 黒沢 年雄

くろさわ としお  
俳優

## 「人生プラス思考で」

C

1944年生まれ。日大横浜高校卒業後、キャバレーのバンドマン、工場作業員、ウェ이터、運転手など様々な経験をしなが俳優を目指す。1964年東宝映画第4期ニューフェイスに合格。美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ主演「三人よれば」にてデビュー。「ひき逃げ」初主演、この作品でスター新人賞受賞。その後、多数の作品に出演。現在、CM、テレビドラマ、バラエティーショー、トークショーなど幅広く活躍中。大腸がんの手術を克服しリハビリに耐え見事復活した黒沢氏の『人生プラス思考で』を持論とした、笑いあり、涙あり、感動ありの講演は、人生に勇気と希望を与えてくれる。



### 小菅 正夫

こすげ まさお  
旭山動物園 前・園長  
北海道大学客員教授

## 「旭山動物園名誉園長が語る“命のメッセージ”」

B

1948年北海道札幌市生まれ。北海道大学獣医学部卒業後、獣医師・飼育係として旭山動物園へ就職。1995年園長就任。就任当初、入場者数がどん底にあり、閉園の危機に立っていた旭山動物園。その際、これまで描いてきた理想の動物園構想を元に、水中トンネルでペンギンの遊泳を見せる「ペンギン館」を始め斬新なアイデアを導入し、今迄の動物園のイメージを一新。2005年夏には月間入園者数日本一を達成し、日本最北の小さな動物園を日本有数の入場者を誇る動物園にまで育て上げた。2010年退職後は全国各地で動物達を通して“命の大切さ”を語る講演活動を行っている。



### 三遊亭 円楽

さんゆうてい えんらく  
落語家

## 「笑いは心の栄養剤」

A

1950年東京生まれ。青山大学青山大学院大学在学中、五代目・三遊亭圓楽の目に留まり、前座修行をしながらで医学を卒業。入門時から才能を存分に発揮し1977年には、27才にして「笑点」の大喜利レギュラーメンバーに抜擢。現在では大喜利に欠かすことのできない存在となっている。講演では、長年培ってきた笑いとストレス・健康法などをテーマに、現代日本の抱える問題・人間関係・心の健康増進について語る。笑いは副作用のない栄養剤と称し、笑いの絶えないテンポ良い講演は人気を博している。



### 武田 邦彦

たけだ くにひこ  
中部大学 教授

## 「間違いだらけの環境問題」

D

1943年東京都生まれ。1966年東京大学教養学部卒業。旭化成工業などを経て、現在は中部大学にて教授を務める。これまで東京大学、京都大学、東北大学、横浜国立大学、早稲田大学、立教大学、愛知大学などの非常勤講師、文部科学省中央教育審議会専門委員、工学アカデミー理事、芝浦工業大学評議員、NEDO技術委員、日本工教育協会常任理事などを歴任。最近では、「ホンマでっか!?TV」（フジテレビ）をはじめ、テレビ番組にも出演。これまでの「環境問題の常識」に警鐘を鳴らす。



### 竹田 恒泰

たけだ つねやす  
作家

## 「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」

A

1975年旧皇族・竹田家に生まれる。明治天皇の玄孫にあたる。慶応義塾大学法学部法律学科卒業。憲法学・史学の研究に従事。2006年に著書「語られなかった皇室たちの真実」で山本七平賞を受賞。全国各地で“日本を楽しく学ぶ場所”として「竹田研究会」という定期的な連続講座を開催。国史・日本神話・憲法をはじめ、時事問題や日本の伝統、皇室にかかわる数多くの講義を提供。その他、テレビやラジオ番組に出演するなど多方面で活躍中。主な著書「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」「現代語古事記」「日本人が一生使える勉強法」「日本人はいつ日本が好きになったのか」



### 田崎 真也

たさき しんや  
ソムリエ

## 「プロフェッショナルが目指すサービスの極意」

B

1958年東京都生まれ。1977年フランス渡航。その後も渡仏を繰り返し、1983年全国ソムリエ最高技術賞コンクール優勝。1995年第8回世界最優秀ソムリエコンクールにて日本人初の優勝に輝く。1996年「ワインは、憶えてから楽しむものではなく、楽しんでから憶えるもの」をコンセプトに田崎真也ワインサロンを主宰。2010年国際ソムリエ協会会長就任。2011年春の褒章・黄綬褒章受章。世界一のソムリエになるという目標を持ち、実現させるための努力、向上心、執着心を経験し、ソムリエとして学んだサービス精神は、あらゆる分野のサービスに精通。真のサービスについてお話しします。



### 津川 雅彦

つがわ まさひこ  
俳優・監督

## 「日本の文化・日本人の誇り」

A

1940年京都市出身。同志社高校、早稲田大学高等学院編入・中退。1956年16歳のとき映画「狂った果実」（日活）でデビューを果たす。また、映画「寝ずの番」では、マキノ雅彦として監督を務めた。過去に多摩大学の講師を務め、現在は、東京フィルムセンタースクールオブアート専門学校の名誉学校長を務めている。父は沢村国太郎、母はマキノ智子、実兄に長門裕之を持つ。妻は朝丘雪路、娘は女優の真由子。講演では、日本を代表するベテラン俳優として、また映画監督としても活躍する津川氏が、これまでの役者人生について、映画を通して日本の文化について語る。



### 中島 誠之助

なかじま せいのおすけ  
古美術鑑定家

## 「目利きの人生談義」

B

1938年東京生まれ。伊万里など東洋古陶磁器を世に広めた第一人者。数十年にわたる「骨董屋からくさ」の目利きの経験をもとに古美術鑑定家として活躍。テレビ『開運!なんでも鑑定団』にレギュラー出演し、鋭い鑑定眼と歯切れの良い江戸っ子トークでお茶の間の人気者に。「いい仕事してますね〜」のお馴染みの名文句で96年「ユーモア大賞」受賞。鋭い「目利き」によるホンモノとニセモノの仕事振りの違いを、鑑定家としての高度な知識で説く。TV・ラジオのほか、講演等でも幅広く活躍中。



### 中野 信子

なかの のぶこ  
脳科学者  
横浜市立大学客員准教授

## 「成功する人の習慣」

D

東京大学工学部卒業。同大学院医学系研究科 脳神経専攻博士課程修了。フランス原子力研究所にて2年間、博士研究員として活躍し、2010年帰国。世界で上位2%のIQ所有者のみが入会できるMENS Aの会員でもある。人間の行動パターン以外にも、国際問題から流行やカルチャーの分野まで分かり易く説明する人気脳科学者。コメンテーターとしてメディア出演も多数。講演ではビジネスに活かせる行動、恋愛・ビジネススキル等、あらゆる分野において私たちが知りえなかった脳の働きや不思議を興味深く伝える。



## 林家 木久扇

はやしや きくおう  
落語家

### 「笑い与健康」

A

1937年東京都生まれ。66年日本テレビの人気番組「笑点」のレギュラーメンバーに。72年真打ち昇進。92年(社)落語協会理事就任。07年「木久蔵」の名前を息子に譲り「笑点」で公募した「木久扇」へ改名。親子でダブル襲名興行を行う。アート、ラーメン、絵画、歌、役者、エッセイなど下町の”粋“を伝えるマルチな落語家としてお茶の間に人気。その親しみやすいキャラクターは講演でも人気で、時代に呼応する新鮮な話芸は、世代を問わず聴いている人を元気にすると好評を得ている。



## 林家 たい平

はやしや たいへい  
落語家

### 「笑顔のもとに笑顔が集まる」

B

1964年埼玉県生まれ。1987年武蔵野美術大学造形学部卒業。1988年林家こん平に入門。日本テレビ系「笑点」大喜利でお馴染み、林家伝統のサービス精神あふれる芸風を受け継ぎ、「たい平ワールド」と呼ばれる楽しさ溢れる高座は高い評価を得ており、NHKの新人賞を始め若手落語家の賞を総なめにした。2000年真打ち昇進後も「たい平落語」の更なる飛躍を目指し、自らの独演会を中心に全国での落語会の他、ラジオ・テレビも多数出演し、老若男女問わずファン層が幅広い。新聞雑誌のイラスト連載や、CDデビューを果たすなど多彩な才能の持ち主。2014年落語協会の理事就任。



## 藤原 正彦

ふじわら まさひこ  
数学者・作家・お茶の水  
女子大学名誉教授

### 「日本のこれから、日本人のこれから」

A

1943年旧満州新京生まれ。1968年東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。理学博士。コロラド大学助教授等を経て、1989年お茶の水女子大学理学部数学科教授。2009年退官。数学者として、また作家として理学と文学という異なる分野でも才能を発揮し注目を集める。2005年出版の「国家の品格」は270万部を超えるベストセラーとなり、翌年の「新語・流行語大賞」に選ばれる。2010年「名著講義」で文藝春秋読者賞を受賞。現在、お茶の水女子大学名誉教授。教育、文化、日本人論など国家の根幹にかかわる問題について積極的に発言を続けている。



## 守屋 淳

もりや あつし  
作家

### 「“孫子”の兵法とビジネス戦略」

D

1965年東京生まれ。早稲田大学文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に「孫子」「論語」「老子」「荘子」などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした執筆や企業での研修・講演を行っている。中小から上場企業までの社長や第一線のビジネスマン、キャリア官僚等との勉強会を多数行い、常に最新の知見、情報を取り入れている。単なる古典の解説にとどまらず、時代背景や、現代の事例、エピソードを多数交えたスピード感ある飽きさせない講演は好評。「最高の戦略教科書 孫子」はベストセラーとなる。



## 山本 一カ

やまもと いちりき  
作家

### 「旅と生き方 雑記帖」

C

1948年高知県生まれ。1966年都立世田谷工業高等学校電子科を卒業。長年の会社員生活を経て、1997年「蒼龍」で第77回オール讀物新人賞受賞。2002年江戸の下町を舞台に家族の絆を描いた時代小説「あかね空」で直木賞受賞。現在は、新聞雑誌などのコラム執筆、テレビのコメンテーター等、幅広く活躍中。世相や政治について落ち着いた口調、張りのある声で小気味よく斬りこむ。近畿日本ツーリスト、日航商事、日航ビジネスなどでサラリーマン生活を送り、四十代後半から作家生活へ。多額の借財を背負っての授賞で話題となった。現在、雑誌コラム執筆、テレビ出演など多方面でも活躍中。



## 養老 孟司

ようろう たけし  
東京大学名誉教授

### 「考えるということ」

B

1937年神奈川県生まれ。東京大学医学部卒業後、解剖学研究室に入る。東京大学医学部教授、北里大学大学院教授を経て、現在、東京大学名誉教授。2003年に出版した「バカの壁」は400万部を超えるベストセラーとなり、題名の「バカの壁」は新語・流行語大賞を受賞。人のあらゆる営みは脳という器官の構造に対応しているという「唯脳論」の提唱者。一般的な心の問題や社会現象を脳科学、解剖学をはじめとした医学・生物学領域の知識を交えながら解説し多くの読者を得る。講演では、現代人が忘れかけている「からだの知恵」や「自然」について、脳科学や解剖学の知識を交えながら解り易く語る。